

## 授業改善書

科目名	比較文化論
担当者	齋藤正憲

### 授業の概要

アジアの諸文化の概要を辿りつつ、比較文化論の観点を盛り込んだアジア観の涵養を目指す。その際には、アジア文化論・日本文化論に関する既往研究を確認し、指標とした。

### 授業の問題点

アンケートをみると、本授業の課題は以下のようなだろう。

- \* 質問や発言ができなかった。
- \* 予習復習をしなかった。
- \* ノートを取らなかった。
- \* ノートが取りにくかった。

### 授業改善の課題・方策

\* 出席簿の完成が遅れてしまったこともあるが、授業中に学生に発言を求めることが難しかった。しかし、今後は双方向的なアクティブ・ラーニングをより一層目指したいと思う。意欲の高い学生を見極め、彼ら／彼女らを軸に、積極的な授業参加を求めたいと思う。

\* とくに復習する習慣を身につけさせるために、関連図書の紹介を充実したい。課題を課すことは考えていないが、授業後、何かを考えたいような問題提起を積極的に行い、学生の興味関心を刺激したい。

\* ノートを取らなかったのは、ノートが取りにくかったことが一因であると思われる。パワーポイントを利用しているが、区切れを重視し、1枚のスライドに詰め込み過ぎたかもしれない。改善したいと思う。

### その他

\* 数は少ないものの、確実に意欲的な学生がいて、とてもやりやすかった。彼ら／彼女らの知的好奇心をより一層刺激できるような授業展開を心がけたい。